

世界史A③ (5/7～5/13の課題)

課題：教科書 pp.12~53 の中で好きな世界史ワード（人名や国名、文化、作品など）を
2つ選び、教科書・資料集・インターネット検索などを使用して調べてみましょう。
ただし、1・2回目で取り上げたものとは異なるものを選んでください。
調べた内容、興味のある点などをA4サイズの紙（ルーズリーフも可能）1枚程度にまとめてください。

〈注意事項〉

- ・選んだ世界史ワード1つあたり、200字程度（超える分にはいくらかでも可）の文章を書くこと。
- ・必ず提出予定の紙に「科目名・クラス・番号・名前」を記入してください。
- ・文章の中には必ず、「時代や時期、どこの国か」などの歴史的な基本情報を入れること。
- ・絵や図などを入れてくれてもいいです。
- ・面白いエピソードなどがあったら是非書いてみてください。
- ・他の教科との兼ね合いもあると思うので、没頭して時間をかけすぎないこと。

(作成例)

世界史A③ 3年 ○組 ○番 氏名（ ）

選んだ世界史ワード①「ハンムラビ法典」

1902年にフランスの調査隊がスサで発見した、巨大な石柱（碑）に刻まれていた法律。紀元前18世紀（今から約4000年前）にメソポタミア周辺に存在した、バビロン第一王朝の王であるハンムラビ王が定めたとされる。石柱にはくさび形文字で法律が刻まれており、石柱の上部にはハンムラビ王が太陽神シャマシュから法典を授かっている絵が掘られている。法律の内容としては、「目には目を、歯には歯を」で有名な同害復讐法がある。これは「やられたらやり返せ！」などという意味ではなく、当時は「やられたらやりかえす、倍返しだ！」が基本だった社会であり、そんな中ではこの法律は被害以上の過剰なやり返しを阻止する役割を持っていた。ただし、奴隷を傷つけた場合はお金の賠償。また、この法典には意外とビールに関する法律も載っている。興味があれば是非一見を。

選んだ世界史ワード②「〇〇」

（上と同程度の分量程度で書いてください。）